



2 0 0 8 年
安 全 報 告 書



7020系車両

この安全報告書は、当社における2007年度の鉄道輸送の安全の確保のための取組みや、安全の実態をまとめたものです。

2008年9月

大阪府都市開発株式会社



1. お客さまはじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対しまして、日ごろのご利用とご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社は、1971年4月の開業以来、法令の遵守とともに安全で快適な輸送サービスの提供に努めております。

2007年度におきましても、光明池駅の耐震補強工事、光明池変電所の電力設備更新、列車運行管理システム並びに施設管理システムの更新(2008年度完成予定)等、さらなる安全性の充実及び向上のための工事を実施いたしました。また、省エネルギー化、バリアフリー化をより一層進めた新造車両18両の運用を開始いたしました。

今後とも、安全最優先意識の徹底を図り、輸送の安全性の向上に取り組むとともに、お客さまと社会からさらに信頼される鉄道を目指して努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために毎年度公表するものです。

皆さまからの声も反映しながら輸送の安全性の向上に努めたいと考えておりますので、ご意見を頂戴できれば幸いです。

大阪府都市開発株式会社

代表取締役社長 小坂 裕次郎



2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

泉北高速鉄道では、鉄道の安全確保のために次の項目を推進します。

- ①安全で快適な鉄道輸送サービスを提供します。
- ②お客さまと社会から信頼される企業を目指します。
- ③組織の活力をより向上させます。

(2) 安全に係る行動規範

泉北高速鉄道では、社長以下全役員・全社員が一丸となって輸送の安全確保を図るため、以下の安全に係る行動規範を遵守します。

- ①一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(3) 安全目標

泉北高速鉄道では、1977年9月以来、約30年にわたり「責任事故（当社の責任により発生した事故）ゼロ件」を継続しております。今後ともこの継続に向けて取り組んでまいります。



乗務員点呼



事故復旧訓練



電車線の点検



3. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2007 年度は、お客さまの転落による鉄道人身障害事故(泉ヶ丘駅)が 1 件発生しました。

(2) 鉄道災害

2007 年度は、鉄道施設に被害を生じる災害は発生しませんでした。

(3) インシデント(事故の兆候)

2007 年度は、国土交通省近畿運輸局への報告を必要とするインシデントは発生しませんでした。

(4) 輸送障害(運休や 30 分以上の遅延)

2007 年度は、第三者行為(自殺)により運休、30 分以上の遅延を伴う輸送障害が 1 件発生しました。

(5) 行政指導等

2007 年度の近畿運輸局の保安監査において、架線のエアセクションの位置を是正するよう改善指示を受けました。改修工事を行い、2008 年 3 月に改善指示どおりエアセクションの位置を是正いたしました。



マルチプルタイタンパー
コンピューター制御で軌道の狂いを計測して直します。

軌陸車

線路と道路の両方を走行できトロリー線や ATS(自動列車停止装置)、列車無線の点検を行います。



4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点設備施策

輸送の安全確保のための主な設備投資として以下の工事を進めています。

ア 列車運行管理システム更新

列車の安全運行を支える「列車運行管理システム」を最新鋭の機器に更新します。（2008 年度完成予定）



新型運行表示盤

イ 耐震補強工事

各駅間部分の耐震補強工事は終了し、駅舎の耐震補強に取り組んでいます。

泉ヶ丘駅、樺・美木多駅の耐震補強工事はすでに完了し、現在、光明池駅の工事を実施しています。



耐震補強工事

ウ 主要電気設備更新工事

列車の安全運行を確保するために電気設備を更新します。（2008 年度完成予定）

○変電所等の施設管理システム

○光明池変電所の電力設備



光明池変電所

エ 車両更新

3000 系車両の更新車両として、省エネルギー・バリアフリー化をより一層進めた 7020 系車両を製作し、2007 年 4 月から 6 両を、2008 年 3 月から 12 両を運用しています。



7020 系車両

（２）人材教育

運輸部門、技術部門それぞれが、年間計画の中でテーマを決めて教育を実施しています。

代表的な事例として、2007 年5月から7月の間に3回、緊急時における応急処置と AED※の使用を含む心肺蘇生法等について和泉市消防本部から講師を招き、普通救命講習を実施しました。

また、2007 年8月から、当社社員が応急手当普及員資格を取得し、社内で普通救命講習を実施する体制を整えております。

※ AED（Automated External Defibrillator：自動体外式除細動器）は、心臓突然死から人命を救うため、心臓に電気ショックを与え心臓本来のリズムを取り戻す機器です。

（３）緊急時対応訓練

事故に備えた即応体制を整えるため、鉄道現業各部門が毎月実施している事故対応訓練に加えて、2007 年12月に、線路上への自動車転落による列車脱線を想定した総合訓練を実施しました。



（４）列車発車時の安全性向上

列車発車時の安全性向上のため、2007 年10月から、運転士及び車掌の作業手順を見直し、車掌による安全確認を強化するとともに、運転士による後方確認も合わせて行うこととしました。



運転士による後方確認

（５）アルコールチェックの実施

2007 年1月1日から乗務員の所属する部署等にアルコールチェッカーを設置し、運用をしています。

（６）安全のための設備投資と検査・修繕費

2007 年度は安全のための設備投資として34億6千万円の工事を実施するとともに、車両・施設について7億5千万円の検査・修繕を行いました。

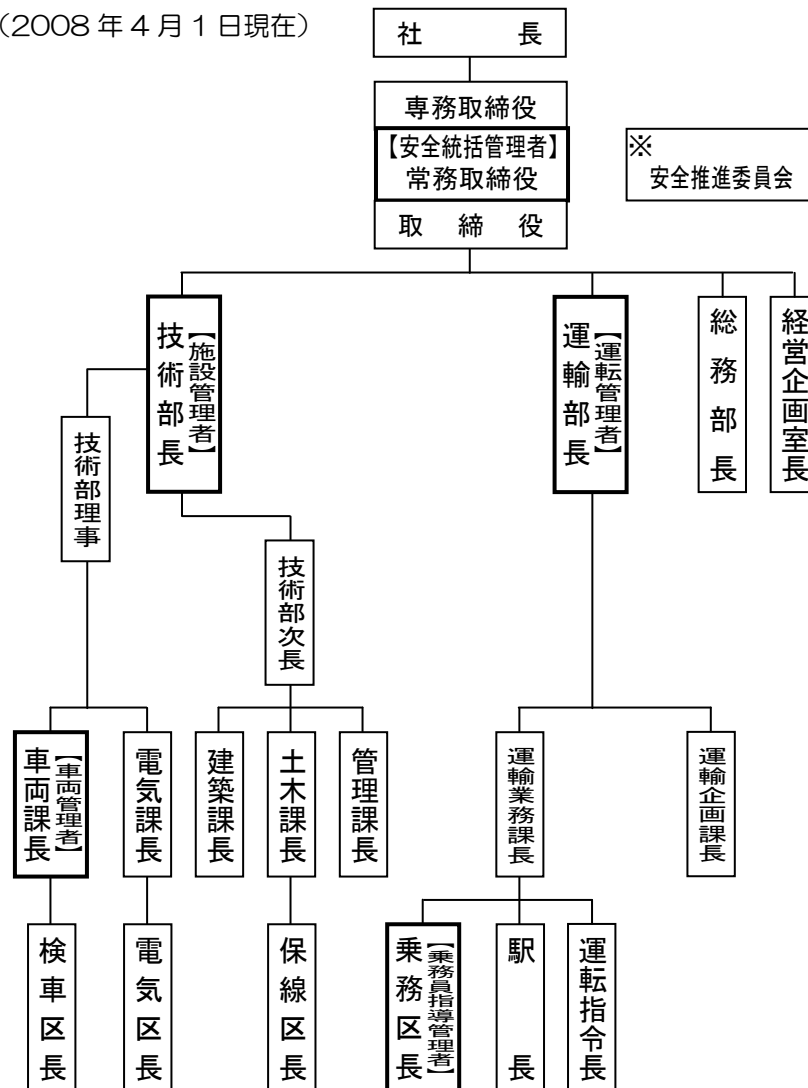


5.当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全管理体制図

(2008年4月1日現在)



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 【常務取締役】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運輸管理者 【運輸部長】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 【乗務区長】	運輸管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 【技術部長】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 【車両課長】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

※安全推進委員会は社長を委員長とし、安全管理体制の構築を図るために設置

6.お客さま・地元の皆さまとの連携

(1) お客さまのご意見を受けての設備の改良

「和泉中央駅では、コンコースの階段の柱が太いため、見通しが悪く、反対から来る人とぶつかることがよくあります。」

というご意見をいただきました。

対策として、お客さまの視界を確保し、安全にすれ違いできるように、柵を設置しました。



(2) AED の設置

AED (Automated External Defibrillator : 自動体外式除細動器) は、心臓突然死から人命を救うため、心臓に電気ショックを与え心臓本来のリズムを取り戻す機器です。

泉北高速鉄道では、各駅にAEDを設置しており、運輸部門に従事する社員全員がAEDの使用を含む心肺蘇生法等の講習を受講しております。

AEDを使うことによって大切な命が救われる可能性が高まります。医療従事者以外の使用が認められておりますので、もしもの場合はご利用ください。



(3) 和泉市消防本部との連携

和泉市消防本部と連携し、鉄道の事故、災害時の迅速な救援、救急体制を実現するため、合同での事故復旧訓練、当社社員が講師となつての鉄道車両に関する講習などを実施しました。



(4) 「こども 110 番の駅」

泉北高速鉄道の各駅では、「こども 110 番の駅」
として地域のお子さまを守るための取り組みを行
っています。



<主旨>

「こども 110 番の駅」のステッカーを見て、お子さまが駅に助けを求め
てきた場合、お子さまの安全を確保し代わって警察へ連絡を行うなどの対応
を取ります。また、犯罪発生時のみでなく、日ごろから安全への配慮を心が
け、安全な地域づくりに貢献するとともに、お子さまにとって楽しく、安心
してご利用いただける駅づくりを目指します。



7.お客さまへのお願い

(1) ホームの非常通報ボタンについて

泉北高速鉄道の各駅では、プラットホームに「非常通報ボタン」を設置しています。万一、お客さまの目の前で、他のお客さまが誤って線路に転落したり、列車と接触する恐れのある大きな力パン等を線路に落とされた場合は、ためらわずに「非常通報ボタン」を押してください。

「非常通報ボタン」を押すと、警報音や赤色灯により、駅係員や付近を走行する電車の乗務員に緊急事態の発生を知らせ、電車は停止します。

※いたずらで「非常通報ボタン」を押した場合、電車が遅れる原因となり、法律で罰せられることがあります。



(2) 駆け込み乗車について

駆け込み乗車は、非常に危険であり、列車の遅延にもつながりますのでおやめくださいますようお願いいたします。

駅の放送等で、駆け込み乗車をおやめいただきますようお願いしておりますが、最近、エレベータ利用のお客さまの駆け込み乗車による戸挟み事故が多発していることから、エレベータ内に駆け込み乗車禁止を呼びかけるステッカーを貼付いたしました。



8.そ の 他

当社では、ホームページ（<http://www.semboku.jp/>）やお電話、また駅等において、広くお客さまからのご意見をお聞きする体制をとっております。